



日本共産党  
市議会議員団  
週刊議会報告  
【発行】  
岡野長寿  
090  
2095-5792  
三浦とおる  
090  
1019-8791

# 「安心・安全な少人数学級を求める意見書」可決 — 共産党議員団が提案、全会派・議員が賛成 —



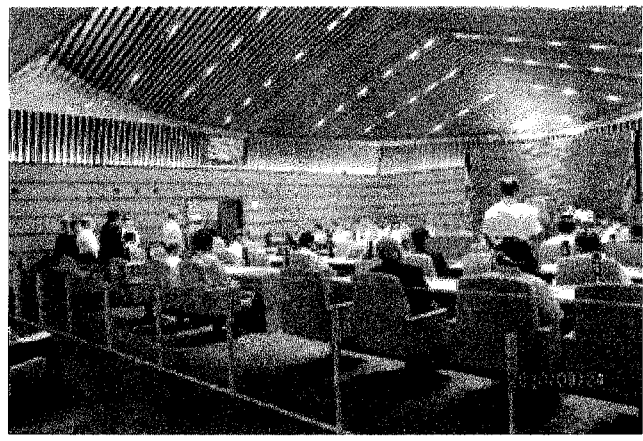
意見書の提案をする岡野長寿議員

9月24日、尾道市議会は「少人数学級を求める意見書」を全会一致で可決、関係行政庁へ送付されることになりました。来年度予算編成で30人学級、教職員増員など具体化されることを期待されます。

岡野長寿市議は、「40人学級では1メートル空けることも困難、長期の休校もあり、子どもたち一人ひとりに丁寧に寄り添う教育が必要、クラスを半分にした少人数授業で授業がよくわかることを実感した。OEC D諸国の中でも、日本は遅れており、国の責任で少人数学級を実施するべき」と案文を読み上げ提案説明を行いました。

同市議は、少人数学級について一般質問でも取りあげ、全国知事会長、全国市長会長、全国町村会長も少人数学級の実施を求めていることを紹介し、議会も一石を投じようと呼びかけ、佐藤教育長も答弁の中で「教職員定数の改善と学級編成基準の緩和について、全国都市教育長

24日の本会議において、市民有志の皆さんが提出された「コロナウイルス感染対策の拡充を求める」請願書の審議が行われました。同請願に対して、星野市議が反対討論、前田市議、三浦市議が賛成討論を行いました。



賛成は9人にとどまり請願が否決される

## なぜ否決？ 「コロナウイルス感染対策の拡充を求める」市民の請願

三浦市議は、賛成討論で、日本医師会の緊急提言を紹介して、経済活動と感染拡大防止を両立させるためには、社会的検査が必要となることを強調して、市民の皆さんの請願に市民の代表である議会は賛成すべきであると強く訴えました。また、医療



請願に賛成意見を述べる三浦とおる議員

介護、保育現場で働く人々に検査を実施していくことで市民の安心安全につながることを事例を紹介しながら、賛成して頂けるよう議員に訴えかけました。

尾道市からクラスターを出さないためにも必要な請願書でありましたが、採決では、賛成9人。反対18人で否決されました。市民の代表として市民の声を大切にする議会にしていく必要があります。

## みうら君の生活一口メモ 異常気象を止めるために

みなさん、おはようございます。市議のみうら君です。2週間前に「巨大台風や異常気象を止めるため何をすれば良いか」について皆さんと考えていました。思い出してください。今週はその続きを皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

前に言ったように、量消費で大企業が儲かる仕組みになっています。この経済の仕組みや、今の政治の在り方を変えないと「地球温暖化」を止めることはできません。このままでは、夏はもっとと猛暑になり、台風は強大化するばかりであると専門家の皆さんは口をそろえて言っています。現在の経済システムは大量生産・大規模消費のシステムで、温暖化防止の対策は、全く不十分です。

今、環境省がしきりに言っているのは一人一人にできることとしてエアコンの温度設定であるとか、節電に努めましょうとか、個人で頑張ってくださいと言っています。もつと根本的に経済、政治の在り方を変革し、温暖化防止に取組む政権を作るのが1番です。

賛成議員	反対議員
飯田 照男	宇根本 茂
岡野 長寿	星野 光男
佐藤 志行	宮地 寛行
杉原 孝一郎	村上 隆一
新田 賢慈	山戸 重治
藤本 友行	山根 信行
前田 孝人	吉田 尚徳
卷幡 伸一	吉和 宏
三浦 とおる	(50音順)
(50音順)	柿本 和彦
	加納 康平
	高本 訓司
	壇上 正光
	二宮 仁
	福原 謙二